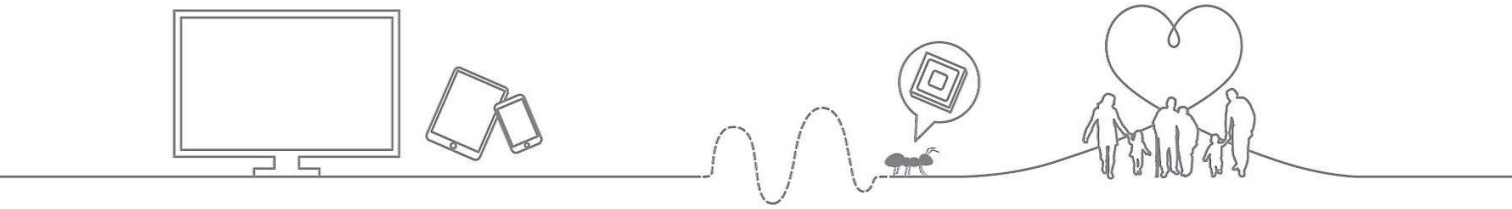
SK-Electronics CO.,LTD.

ご来場の株主様へのお土産の配布はございません。



第25期
定時株主総会招集ご通知

開催日時

2026年12月18日（金曜日）午前10時
（受付開始　午前9時）

開催場所

京都市下京区堀川通五条下ル柿本町580番地
京都東急ホテル　2階 葵の間

議 案

第１号議案　剰余金の処分の件
第２号議案　取締役（監査等委員である取締役を除く。）６名選任の件
第３号議案　監査等委員である取締役５名選任の件

書面またはインターネットによる議決権行使期限
2026年12月17日（木曜日）午後５時まで

ご案内
「招集ご通知」の全文は、当社ウェブサイトおよび東証ウェブサイトにおいて公開しております。
なお、書面でお送りする「招集ご通知」では、法令および当社定款の規定に基づき、記載内容の一部を省略しております。

招集通知全文はこちら（当社ホームページ）

目　次

第25期定時株主総会招集ご通知 …… 1
株主総会参考書類…… 5
事業報告……16
連結計算書類……27

株式会社 エスケーエレクトロニクス
証券コード：6677

(証券コード　6677)
2026年11月27日

株 主 各 位

京都市上京区東堀川通リ一条上ル竪富田町436番地の２
株式会社 エスケーエレクトロニクス
代表取締役社長 石　田　昌　徳

第25期定時株主総会招集ご通知

拝啓　平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、当社第25期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申しあげます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載しておりますので、以下の当社ウェブサイトにアクセスのうえ、ご確認くださいますようお願い申しあげます。

当社ウェブサイト
https://www.sk-el.co.jp/ir/stocks.html

また、当社ウェブサイトのほか、東京証券取引所（東証）のウェブサイトにも掲載しております。以下の東証ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）にアクセスして、銘柄名（エスケーエレクトロニクス）または証券コード（6677）を入力・検索し、「基本情報」、「縦覧書類／ＰＲ情報」を選択のうえ、ご確認くださいますようお願い申しあげます。

東証ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）
https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show

なお、当日ご出席されない場合は、書面またはインターネットにより議決権を行使することができますので、お手数ながら株主総会参考書類をご検討いただき、後述の「議決権行使についてのご案内」に従いまして、2026年12月17日（木曜日）午後５時までに議決権を行使してくださいますようお願い申しあげます。

敬　具

記

1．日　　時　2026年12月18日（金曜日）午前10時

2．場　　所　京都市下京区堀川通五条下ル柿本町580番地
京都東急ホテル　２階　葵の間
（末尾記載の「株主総会会場ご案内図」をご参照ください。）

3．目的事項

報告事項
1．第25期（2025年10月１日から2026年９月30日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
2．第25期（2025年10月１日から2026年９月30日まで）計算書類報告の件

決議事項
第１号議案　剰余金の処分の件
第２号議案　取締役（監査等委員である取締役を除く。）６名選任の件
第３号議案　監査等委員である取締役５名選任の件

以　上

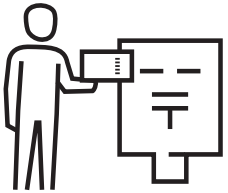
◎ 電子提供措置事項のうち、次の事項につきましては、法令および当社定款第16条第２項の規定に基づき、書面交付請求をいただいた株主様に対して交付する書面には記載しておりません。従って、書面交付請求をいただいた株主様に対して交付する書面は、監査報告を作成するに際して、監査等委員会および会計監査人が監査をした書類の一部であります。

- 事業報告の「企業集団の現況に関する事項」のうち「主要な事業内容」「主要な事業所」「従業員の状況」「主要な借入先の状況」および「その他企業集団の現況に関する重要な事項」、「株式に関する事項」、「新株予約権等に関する事項」、「会計監査人に関する事項」ならびに「会社の体制および方針」
- 連結計算書類の「連結株主資本等変動計算書」および「連結注記表」
- 計算書類の「貸借対照表」、「損益計算書」、「株主資本等変動計算書」および「個別注記表」
- 監査報告書の「連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書」、「会計監査人の監査報告書」および「監査等委員会の監査報告書」

◎ 電子提供措置事項に修正が生じた場合は、前記インターネット上の当社ウェブサイトおよび東証ウェブサイトに修正内容を掲載させていただきます。このほか、株主総会の運営に大きな変更が生じた場合も、前記インターネット上の当社ウェブサイトにてご案内させていただきます。

議決権行使についてのご案内

➡ 書面による議決権行使



同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、行使期限までに到着するようご返送ください。議決権行使書面において、議案に賛否の表示がない場合は、賛成の意思表示をされたものとして取り扱わせていただきます。

行使期限　2026年12月17日（木曜日）午後５時まで

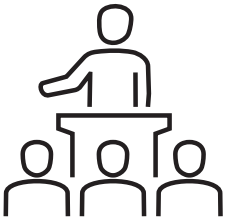
➡ インターネットによる議決権行使



次頁の「インターネットによる議決権行使のご案内」をご確認のうえ、議決権行使ウェブサイトにアクセスしていただき、行使期限までに賛否をご入力ください。
スマートフォンでの議決権行使は「スマート行使」をご利用ください。

行使期限　2026年12月17日（木曜日）午後５時まで

➡ 当日ご出席による議決権行使



当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申しあげます。

株主総会開催日時　2026年12月18日（金曜日）午前10時
（受付開始 午前９時）

■ 書面とインターネットにより重複して議決権を行使された場合は、インターネットによるものを有効な議決権行使としてお取扱いいたします。

■ インターネットにより複数回議決権を行使された場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使としてお取扱いいたします。

インターネットによる議決権行使のご案内

当社指定の議決権行使ウェブサイトに以下のいずれかの方法でアクセスし、画面の案内に従って賛否をご入力ください。

行使期限　2026年12月17日（木曜日）午後 5 時まで

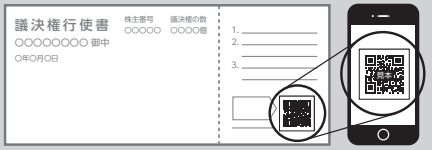
（議決権行使結果の集計の都合上、お早めに行使してくださいますようお願い申しあげます。）

QRコードを読み取る方法「スマート行使」

議決権行使コードおよびパスワードを入力することなく議決権行使ウェブサイトにログインすることができます。

❶ 議決権行使書用紙右下のQRコードを読み取ってください。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



❷ 以降は画面の入力案内に従って賛否をご入力ください。

ご注意

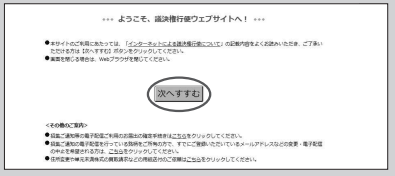
「スマート行使」での議決権行使は1回に限り可能です。

一度議決権を行使した後で行使内容を変更される場合、再度QRコードを読み取り、議決権行使書用紙に記載の議決権行使コードおよびパスワードをご入力いただく必要があります。

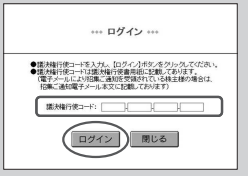
議決権行使コード・パスワードを入力する方法

議決権行使ウェブサイト **https://www.web54.net**

❶ ウェブサイトへアクセス



❷ 議決権行使コードを入力し、ログイン



❸ パスワードの入力



❹ 以降は画面の入力案内に従って賛否をご入力ください。

・株主様のインターネット利用環境、ご加入のサービスやご使用の機種によっては、議決権行使ウェブサイトがご利用いただけない場合もあります。
・議決権行使ウェブサイトをご利用いただく際のプロバイダへの接続料金および通信事業者への通信料金(電話料金等)は、株主様のご負担となります。

インターネットによる議決権行使に関するお問い合わせ

インターネットによる議決権行使に関して、ご不明な点につきましては、以下にお問い合わせくださいますようお願い申しあげます。

株主名簿管理人 三井住友信託銀行証券代行ウェブサポート

0120-652-031 [受付時間（午前9時～午後9時）]

株主総会参考書類

第１号議案　剰余金の処分の件

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと考え、経営基盤の強化を図りつつ、積極的に成長分野への投資を行うことで、継続的な企業価値の向上と株主の皆様への安定的かつ継続的な利益配分を実現することを基本方針としております。配当につきましては、当社の財政状態、中長期的な成長投資計画等を勘案したうえで、連結配当性向50％を目指してまいります。

当期の期末配当につきましては、上記基本方針ならびに財政状態および今後の事業展開等を総合的に勘案し、１株につき152円といたしたいと存じます。

期末配当に関する事項

(1) 配当財産の種類
　　金銭

(2) 配当財産の割当てに関する事項およびその総額
　　当社普通株式１株につき　　152円
　　配当総額　　1,600,652,264円

(3) 剰余金の配当が効力を生じる日
　　2026年12月21日

第２号議案　取締役（監査等委員である取締役を除く。）６名選任の件

本総会終結の時をもって、取締役（監査等委員である取締役を除く。以下、本議案において同じであります。）全員（７名）は任期満了となります。つきましては、経営体制の効率化のため１名減員し、取締役６名の選任をお願いするものであります。なお、本議案については、委員の過半数を独立社外取締役とする指名・報酬委員会による諮問を経て決定しており、また、監査等委員会から取締役候補者全員について適任である旨の意見を得ております。

取締役候補者は次のとおりであります。

候補者番号	氏名	現在の当社における地位および担当	取締役会出席状況
1	石田昌徳（いしだまさのり）　再任	代表取締役社長	100% (13回/13回)
2	上野篤雄（うえのとくお）　再任	常務取締役 新領域創造室およびソリューション事業部管掌 フォトマスク事業本部担当 フォトマスク事業本部長	100% (13回/13回)
3	阿部和香（あべわか）　再任	取締役 新領域創造室担当 ソリューション事業部担当	100% (13回/13回)
4	奥田正男（おくだまさお）　再任	取締役 管理本部担当	100% (13回/13回)
5	小西芳広（こにしよしひろ）　再任	取締役 技術開発本部担当	100% (10回/10回)
6	土塚浩一（つちづかこういち）　新任	顧問	－

1 石田（いしだ） 昌徳（まさのり） （1969年９月10日生） 再任

■所有する当社株式の数

311,400株

■取締役会出席状況

100%（13回/13回）

■略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1992 年 4 月　大日本スクリーン製造株式会社（現株式会社SCREENホールディングス）入社
1997 年 7 月　株式会社写真化学入社
2000 年 6 月　同社取締役
2001 年10月　当社取締役
2002 年 5 月　頂正科技股份有限公司董事長
2003 年10月　当社常務取締役
2005 年11月　SKE KOREA CO.,LTD.代表理事
2008 年10月　当社専務取締役
2010 年 9 月　愛史科電子貿易（上海）有限公司董事長
2011 年10月　当社代表取締役社長（現任）
2013 年 1 月　愛史科電子貿易（上海）有限公司董事長

取締役候補者とした理由
石田昌徳氏は、当社グループの業務全般に精通しており、代表取締役社長に就任以降、優れたリーダーシップにより当社グループの経営を牽引しております。引き続き、取締役としての職務を適切に遂行し、当社の企業価値向上に資すると判断し、選任をお願いするものであります。

2 上野（うえの） 篤雄（とくお） （1961年12月20日生） 再任

■所有する当社株式の数

8,500株

■取締役会出席状況

100%（13回/13回）

■略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1987 年 4 月　株式会社写真化学入社
2007 年10月　当社営業本部長
2008 年10月　当社執行役員
2010 年 5 月　頂正科技股份有限公司総経理
2013 年11月　同社董事長
2013 年12月　当社取締役フォトマスク事業本部担当
　　フォトマスク事業本部長
2020 年12月　SKE KOREA CO.,LTD.代表理事
2021 年 1 月　愛史科電子貿易（上海）有限公司董事長
2025 年12月　当社常務取締役新領域創造室およびソリューション事業部管掌
　　フォトマスク事業本部担当フォトマスク事業本部長（現任）

取締役候補者とした理由
上野篤雄氏は、営業部門や海外子会社経営における豊富な経験と実績に基づき、当社の主力事業であるフォトマスク事業を牽引するとともに、新領域創造室およびソリューション事業部を管掌しております。引き続き、取締役としての職務を適切に遂行し、当社の企業価値向上に資すると判断し、選任をお願いするものであります。

3 阿部（あべ） 和香（わか） （1972年6月15日生） 再任

■所有する当社株式の数

104,000株

■取締役会出席状況

100%（13回/13回）

■略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

2004 年 3 月　当社入社
2013 年 4 月　当社経営戦略室副室長
2014 年 4 月　株式会社写真化学入社
2014 年 6 月　同社取締役
2019 年11月　当社顧問
2019 年12月　当社取締役事業開発室担当
2021 年 6 月　株式会社アイティフォー社外取締役（現任）
2022 年 4 月　当社取締役新領域創造室担当兼ソリューション事業部担当（現任）
2025 年 3 月　株式会社モニクル社外監査役（現任）

〔重要な兼職の状況〕
株式会社アイティフォー社外取締役
株式会社モニクル社外監査役

取締役候補者とした理由
阿部和香氏は、当社における新規事業の立ち上げの経験や、他社の役員としての豊富な経験と実績に基づき、当社の新規事業開発を担当しております。引き続き、取締役としての職務を適切に遂行し、当社の企業価値向上に資すると判断し、選任をお願いするものであります。

4 奥田（おくだ） 正男（まさお） （1962年12月16日生） 再任

■所有する当社株式の数

2,400株

■取締役会出席状況

100%（13回/13回）

■略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1985 年 4 月　株式会社京都銀行入行
2004 年10月　同行富野荘支店長
2006 年 9 月　同行八尾支店長
2009 年 1 月　同行寝屋川支店長
2010 年12月　同行西院支店長
2014 年 6 月　同行執行役員個人営業部長
2015 年 6 月　同行執行役員営業統轄部長
2017 年 6 月　同行執行役員監査部長
2020 年 7 月　当社顧問
2020 年12月　当社取締役管理本部担当（現任）

取締役候補者とした理由
奥田正男氏は、金融機関在職時における豊富な経験と幅広い知見に基づき、当社の管理部門全般を担当しております。引き続き、取締役としての職務を適切に遂行し、当社の企業価値向上に資すると判断し、選任をお願いするものであります。

5 小西（こにし） 芳広（よしひろ） （1966年１月２日生） 再任

■所有する当社株式の数

200株

■取締役会出席状況

100%（10回/10回）

■略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1992 年 4 月　松下電器産業株式会社（現パナソニックホールディングス株式会社）入社
2003 年 9 月　シャープ株式会社入社
2016 年10月　当社入社
2018 年10月　当社フォトマスク事業本部技術開発本部長
2022 年10月　当社執行役員フォトマスク事業本部技術開発本部長
2025 年12月　当社取締役技術開発本部担当フォトマスク事業本部技術開発本部長
2026 年10月　当社取締役技術開発本部担当（現任）

取締役候補者とした理由
小西芳広氏は、技術者としての豊富な経験と幅広い知見に基づき、当社フォトマスク事業の技術開発を担当しております。引き続き、取締役としての職務を適切に遂行し、当社の企業価値向上に資すると判断し、選任をお願いするものであります。

6 土塚（つちづか） 浩一（こういち） （1968年11月26日生） 新任

■所有する当社株式の数

0株

■取締役会出席状況

－

■略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1992 年 4 月　日本生命保険相互会社入社
2012 年 3 月　同社本店広報室長
2013 年 3 月　同社本店企画広報部長
2016 年 3 月　同社本店法人営業第二部長
2018 年 3 月　同社京都総合法人部長
2021 年 3 月　同社東海総合法人第一部長
2023 年 3 月　同社本店総合法人第一部長
2026 年 4 月　当社顧問（現任）

取締役候補者とした理由
土塚浩一氏は、金融機関在職時における豊富な経験と幅広い知見を有しております。これらの経歴を踏まえ、取締役としての職務を適切に遂行し、当社の企業価値向上に資することが期待できると判断し、新任の取締役として選任をお願いするものであります。

（注）1. 各候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
2. 小西芳広氏は、2025年12月19日開催の第24期定時株主総会において、新たに取締役に選任され、就任いたしましたので、同日以降に開催した取締役会への出席状況を記載しております。
3. 当社は、会社法第430条の３第１項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、株主や第三者から損害賠償請求を提起された場合において、被保険者が負担することになる損害賠償金・争訟費用等の損害を当該保険契約により填補することとしております。各候補者の選任が承認された場合、当該保険契約の被保険者に含められることとなります。なお、当社は、当該保険契約を任期途中に更新する予定であります。

第３号議案　監査等委員である取締役５名選任の件

本総会終結の時をもって、監査等委員である取締役全員（５名）は任期満了となります。つきましては、監査等委員である取締役５名の選任をお願いするものであります。なお、本議案については、委員の過半数を独立社外取締役とする指名・報酬委員会による諮問を経て決定しており、また、監査等委員会の同意を得ております。

監査等委員である取締役候補者は次のとおりであります。

候補者番号	氏名	現在の当社における地位および担当	取締役会出席状況	監査等委員会出席状況
1	橋本 昌典（はしもと まさのり） 新任	取締役	100% (13回/13回)	－
2	中野 雄介（なかの ゆうすけ） 再任 社外 独立役員	取締役（監査等委員）	100% (13回/13回)	100% (13回/13回)
3	佐々木 真一郎（ささき しんいちろう） 再任 社外 独立役員	取締役（監査等委員）	100% (13回/13回)	100% (13回/13回)
4	立石 知雄（たていし ともお） 再任 社外 独立役員	取締役（監査等委員）	100% (13回/13回)	100% (13回/13回)
5	神服 佐知子（はっとり さちこ） 再任 社外 独立役員	取締役（監査等委員）	100% (13回/13回)	100% (13回/13回)

1　橋本（はしもと）　昌典（まさのり）　（1962年2月13日生）　新任

■所有する当社株式の数

6,800株

■取締役会出席状況

100%（13回/13回）

■監査等委員会出席状況

―

■略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1991 年 2 月　株式会社写真化学入社
2013 年 4 月　当社生産本部長
2013 年10月　頂正科技股份有限公司総経理
2016 年10月　当社フォトマスク事業本部生産本部長
2019 年10月　当社執行役員フォトマスク事業本部生産本部長
2019 年12月　当社取締役フォトマスク事業本部生産本部長
2020 年10月　当社取締役知財グループ担当フォトマスク事業本部生産本部長
2022 年10月　当社取締役生産本部担当兼技術開発本部担当兼知財グループ担当
2025 年12月　当社取締役生産本部担当兼知財グループ担当（現任）

取締役候補者とした理由
橋本昌典氏は、技術部門や海外子会社経営における豊富な経験と実績に基づき、取締役としての職務を適切に遂行し、当社の企業価値向上に貢献しております。これらの経歴を踏まえ、監査等委員である取締役としての職務を適切に遂行し、当社取締役会の意思決定における適正性を確保するとともに、当社の監査・監督体制の充実に資することが期待できるものと判断し、選任をお願いするものであります。

2　中野（なかの）　雄介（ゆうすけ）　（1969年5月15日生）

再任 | 社外 | 独立役員

■所有する当社株式の数

1,900株

■取締役会出席状況

100%（13回/13回）

■監査等委員会出席状況

100%（13回/13回）

■略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

2002 年 4 月　公認会計士登録
2005 年 7 月　清友監査法人代表社員（現任）
2006 年 4 月　立命館大学専門職大学院経営管理研究科客員准教授
2010 年 1 月　中野公認会計士事務所所長（現任）
2011 年 6 月　株式会社フジックス社外監査役
2014 年12月　当社監査役
2015 年 6 月　日本写真印刷株式会社（現NISSHA株式会社）社外監査役（現任）
2016 年 6 月　ワタベウェディング株式会社社外監査役
2018 年12月　当社取締役（監査等委員）（現任）
2021 年 6 月　三洋化成工業株式会社社外監査役（現任）
2023 年11月　清友税理士法人代表社員（現任）

〔重要な兼職の状況〕
中野公認会計士事務所所長
清友税理士法人代表社員
清友監査法人代表社員
NISSHA株式会社社外監査役
三洋化成工業株式会社社外監査役

社外取締役候補者とした理由および期待される役割の概要
中野雄介氏は、公認会計士としての専門的知識と経験を有しており、監査等委員である社外取締役として職務を適切に遂行していただいております。引き続き、その知識と経験を当社経営に活かし、当社取締役会の意思決定における適正性を確保するとともに、当社の監査・監督体制の充実に貢献いただくことが期待できるものと判断し、選任をお願いするものであります。

3 佐々木 真一郎（ささき しんいちろう）（1971年5月28日生）

再任 | 社外 | 独立役員

■所有する当社株式の数

1,700株

■取締役会出席状況

100%（13回/13回）

■監査等委員会出席状況

100%（13回/13回）

■略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

2005 年12月　京都弁護士会登録
2005 年12月　益川総合法律事務所入所
2012 年 4 月　日東化成株式会社社外監査役（現任）
2012 年 6 月　佐々木総合法律事務所所長（現任）
2016 年12月　株式会社エスユーエス社外監査役（現任）
2022 年12月　当社取締役（監査等委員）（現任）

〔重要な兼職の状況〕
佐々木総合法律事務所所長
日東化成株式会社社外監査役
株式会社エスユーエス社外監査役

社外取締役候補者とした理由および期待される役割の概要
佐々木真一郎氏は、弁護士としての専門的知識と経験を有しており、監査等委員である社外取締役として職務を適切に遂行していただいております。引き続き、その知識と経験を当社経営に活かし、当社取締役会の意思決定における適正性を確保するとともに、当社の監査・監督体制の充実に貢献いただくことが期待できるものと判断し、選任をお願いするものであります。

4　立石（たていし）　知雄（ともお）　（1969年2月6日生）

再任 | 社外 | 独立役員

■所有する当社株式の数

1,800株

■取締役会出席状況

100%（13回/13回）

■監査等委員会出席状況

100%（13回/13回）

■略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1993 年10月　オムロン コミュニケーションクリエイツ株式会社入社
1998 年 9 月　株式会社サイバード取締役
2002 年 7 月　オムロン株式会社
2004 年 6 月　株式会社サンエイトホールディングス代表取締役
2004 年 7 月　株式会社サンエイトインベストメント代表取締役
2004 年 8 月　株式会社サンエイトマーケティング(現株式会社キョーエン)代表取締役(現任)
2005 年 1 月　株式会社CHINTAI取締役
2017 年 4 月　株式会社ビューケン取締役（現任）
2018 年 6 月　株式会社桑山監査役（現任）
2018 年 9 月　NPO法人キッズアートプロジェクト理事
2018 年12月　株式会社エスユーエス社外取締役（現任）
2022 年 1 月　株式会社アートの森(現株式会社clarus)取締役（現任）
2022 年10月　株式会社インデン社外取締役（現任）
2022 年10月　NPO法人キッズアートプロジェクトアドバイザー（現任）
2022 年12月　当社取締役（監査等委員）（現任）
2025 年 2 月　株式会社京善取締役会長（現任）

〔重要な兼職の状況〕
株式会社キョーエン代表取締役
株式会社ビューケン取締役
株式会社桑山監査役
株式会社エスユーエス社外取締役

社外取締役候補者とした理由および期待される役割の概要
立石知雄氏は、企業経営者としての豊富な経験と高い見識を有しており、監査等委員である社外取締役として職務を適切に遂行していただいております。引き続き、その知識と経験を当社経営に活かし、当社取締役会の意思決定における適正性を確保するとともに、当社の監査・監督体制の充実に貢献いただくことが期待できるため、選任をお願いするものであります。

5 神服（はっとり） 佐知子（さちこ） （1974年9月29日生）

再任 | 社外 | 独立役員

■所有する当社株式の数

600株

■取締役会出席状況

100%（13回/13回）

■監査等委員会出席状況

100%（13回/13回）

■略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1997 年 4 月　全日本空輸株式会社入社
1998 年 3 月　スイス航空株式会社入社
2002 年 7 月　ケイアイ興産株式会社入社
2005 年 8 月　KLMオランダ航空会社入社
2007 年 2 月　株式会社フォーシーズインターナショナル代表取締役（現任）
2024 年12月　当社取締役（監査等委員）（現任）

〔重要な兼職の状況〕
株式会社フォーシーズインターナショナル代表取締役

社外取締役候補者とした理由および期待される役割の概要
神服佐知子氏は、企業経営をはじめとする豊富な経験と高い見識、国際的な視点を有しており、監査等委員である社外取締役として職務を適切に遂行していただいております。引き続き、その知識と経験を当社経営に活かし、当社取締役会の意思決定における適正性を確保するとともに、当社の監査・監督体制の充実に貢献いただくことが期待できるため、選任をお願いするものであります。

(注) 1. 立石知雄氏は、NPO法人キッズアートプロジェクトのアドバイザーを現任しており、当社は同法人との間に製品販売の取引がありますが、直近事業年度における同法人との取引実績額は合計38千円であり、独立性に問題はないと判断しております。
2. その他の各候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
3. 中野雄介、佐々木真一郎、立石知雄および神服佐知子の各氏は、社外取締役候補者であり、東京証券取引所の定めに基づく独立役員の候補者であります。
4. 中野雄介、佐々木真一郎、立石知雄および神服佐知子の各氏は、現在当社の監査等委員である社外取締役であり、その社外取締役に就任してからの年数は、本総会終結の時をもって中野雄介氏が８年、佐々木真一郎および立石知雄の両氏が４年、神服佐知子氏が２年となります。
5. 当社は、中野雄介、佐々木真一郎、立石知雄および神服佐知子の各氏との間で、会社法第427条第１項に基づき、同法第423条第１項に定める損害賠償責任を限定する契約を締結しており、当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令に定める最低責任限度額であります。本議案における各氏の選任が承認された場合、当社は各氏との当該契約を継続する予定であります。
6. 当社は、会社法第430条の３第１項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、株主や第三者から損害賠償請求を提起された場合において、被保険者が負担することになる損害賠償金・争訟費用等の損害を当該保険契約により填補することとしております。各候補者の選任が承認された場合、当該保険契約の被保険者に含められることとなります。なお、当社は、当該保険契約を任期途中に更新する予定であります。

以　上

事　業　報　告

（2025年10月１日から2026年９月30日まで）

Ⅰ　企業集団の現況に関する事項

１．事業の経過および成果

（1）事業の状況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が持ち直すなど、緩やかな回復基調が継続しました。一方で、長期化する地政学リスクなどを背景とした原材料価格の高止まりに加え、米国の通商政策や関税措置、日米欧の金融市場の変動などにより、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、フラットパネルディスプレー業界におきましては、中国の『消費財買い替え推進政策』やサッカーワールドカップに向けたテレビの買い替え需要が一服したことから、液晶パネル価格は緩やかに下落しました。ノートパソコン、タブレットなどのＩＴ製品向けでは、ＯＳのサポート終了やＡＩ搭載パソコンの普及、また車載パネル向けでは、採用箇所の増加や大型化を背景に、高精細化・高機能化に対応した液晶パネルの開発が継続して行われました。一方、有機ＥＬパネルについては、新たな第８世代パネル工場の量産開始が発表されるなど供給体制の整備が進む中、スマートフォン市場は弱含みで推移し、スマートフォン向け有機ＥＬパネルの出荷数量が減少するなど、パネル開発が慎重となる動きがみられました。

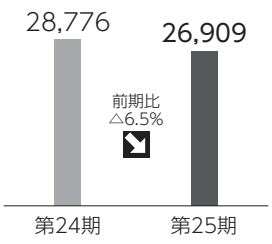
このような状況の中、当連結会計年度における当社グループの売上高につきましては、278億62百万円（前期比4.5％減）となりました。利益につきましては、営業利益40億33百万円（前期比4.7％増）、経常利益43億97百万円（前期比14.3％増）、親会社株主に帰属する当期純利益30億69百万円（前期比12.4％増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。なお、売上高はセグメント間取引の相殺消去後の数値となります。

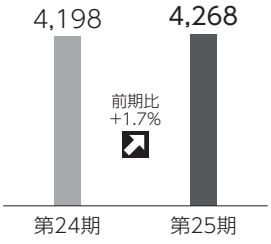
(大型フォトマスク事業)

中国市場ではスマートフォン向け有機ＥＬパネル用のフォトマスク需要が減少し、日本市場においても前連結会計年度に好調であったＶＲデバイス向け液晶パネル用の需要が低調に推移しました。

売上高 (単位：百万円)



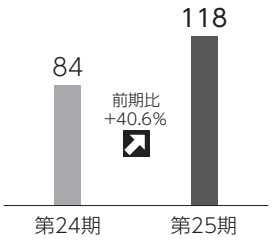
営業利益 (単位：百万円)



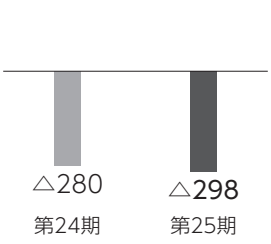
(ソリューション事業)

ＲＦＩＤ分野において「電子ペーパータグ」、ヘルスケア分野において「デジタルコルポスコープQ－CO」の売上が増加しました。

売上高 (単位：百万円)



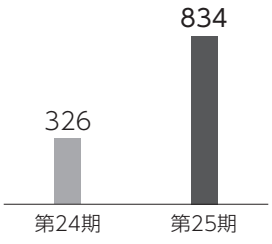
営業利益 (単位：百万円)



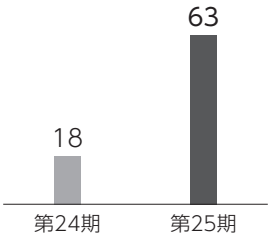
(スクリーンマスク・メタルマスク事業)

当事業における主要製品は、スクリーンマスクおよびメタルマスクです。スクリーンマスクは、車載ガラスや電子部品の印刷工程に、メタルマスクは、半導体パッケージなどの製造におけるはんだペーストの印刷工程などに使用される、高精度な製造用原版です。なお、前連結会計年度とは対象期間が異なるため、増減率の記載は省略しています。

売上高 (単位：百万円)



営業利益 (単位：百万円)



(2) 設備投資の状況

当連結会計年度中に実施いたしました設備投資は総額38億28百万円であり、その主なものは当社における大型フォトマスクの高精細化に係るものであります。

(3) 資金調達の状況

当連結会計年度の当社および連結子会社の所要資金につきましては、主に自己資金により賄っております。

(4) 対処すべき課題

当社グループは、「エレクトロニクスとテクノロジーの力で社会に貢献する」をパーパスとして掲げ、持続的な「企業価値向上」と「株主価値向上」を目指し、次の４項目を重要な経営課題として取り組んでまいります。

① 既存フォトマスク事業における収益力の向上

フラットパネルディスプレー業界においては、有機ＥＬパネルでは高精細化・高機能化および製品ラインナップ拡充に向けた開発が継続することが見込まれます。一方で、事業環境の成熟化等により、売上成長が限定的となる局面では、コスト構造の最適化を通じた収益力の向上が重要課題となります。

このような状況のもと、当社グループは、高精度・高精細ニーズへの対応力を強化しつつ、変動費・固定費の効率化を段階的に推進し、持続可能な利益体質の構築を進めてまいります。あわせて、需要動向を見極めながら、生産効率の改善や設備・工程の最適化等により、収益性の改善に取り組んでまいります。

② 新たな収益基盤の構築

当社グループは、フォトマスク事業に次ぐ成長領域の確立を図るべく、ＲＦＩＤ分野およびヘルスケア分野を中心としたソリューション事業の育成を進めております。これらの領域については、事業拡大と同時に早期の黒字化を重要な経営目標として位置付け、収益化の確度を高めてまいります。

具体的には、ＲＦＩＤ分野における取扱製品の拡販および用途開拓、ヘルスケア分野における主力製品の販路拡大に加え、自社製品開発の推進に取り組みます。また、収益性の観点から不採算領域の見直しを行い、成長領域への資源配分を強化することで、確実な黒字化達成を目指してまいります。

③ Ｍ＆Ａ等によるグループ力の向上

当社グループは、グループの持続的成長と資本効率向上の実現に向け、Ｍ＆Ａを重要な経営戦略の一つとして位置付けております。既存事業の競争力強化および新たな収益基盤の拡充を目的として、事業とのシナジーや収益性、成長性、統合可能性等を総合的に勘案し、段

階的に企業買収・統合を検討・実行してまいります。

あわせて、当社を含む国内外子会社との連携を一層強化し、既存顧客に対するシェア向上および新規取引先の開拓を進めるとともに、グループとしての販売力・開発力・生産／供給体制の最適化を推進します。これにより、新たなビジネスモデル、人材、技術の取り込みを通じて、グループ総合力の強化と事業領域の拡大を図ってまいります。

④ 持続的成長を支える人的資本経営の推進

当社グループが中長期的に成長し企業価値を向上させるためには、ガバナンスの強化に加え、その実行を担う人材の確保・育成が不可欠であると考えております。このため、人的資本の強化を経営の重要課題として位置付け、各課題領域で率先垂範して実行・解決できる人材の育成を戦略的に推進してまいります。

具体的には、経営を担える人材や専門性を有するプロフェッショナル人材の獲得・育成、適切な人員配置・評価・処遇の整備、教育投資の拡充等に取り組みます。あわせて、コンプライアンス・リスク管理の高度化、環境負荷低減を含むサステナビリティへの対応など、持続的成長を支える経営基盤の強化を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

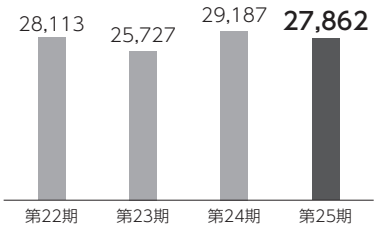
2．財産および損益の状況の推移

（単位：千円）

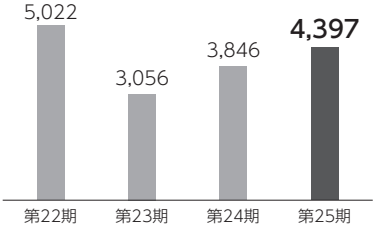
区　　分	第 22 期 (2022年10月 1 日から 2023年 9 月30日まで)	第 23 期 (2023年10月 1 日から 2024年 9 月30日まで)	第 24 期 (2024年10月 1 日から 2025年 9 月30日まで)	第25期(当連結会計年度) (2025年10月 1 日から 2026年 9 月30日まで)
売　上　高	28,113,010	25,727,018	29,187,200	27,862,321
経　常　利　益	5,022,715	3,056,651	3,846,067	4,397,952
親会社株主に帰属する当期純利益	3,384,924	2,291,384	2,731,041	3,069,475
1株当たり当期純利益	325円96銭	220円66銭	263円00銭	295円36銭
純　資　産	31,620,240	32,168,063	34,590,925	37,360,310
総　資　産	41,813,070	39,674,390	42,519,278	45,586,937

（注）1株当たり当期純利益は、自己株式を控除した期中平均発行済株式総数により算出しております。

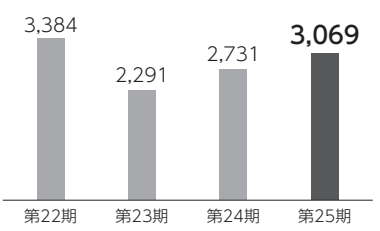
売上高 (単位：百万円)



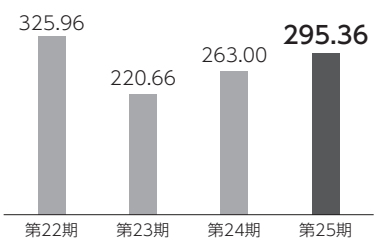
経常利益 (単位：百万円)



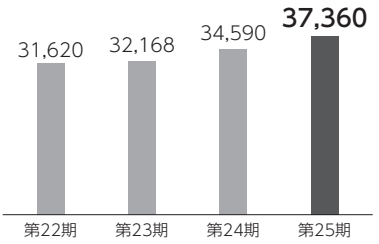
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)



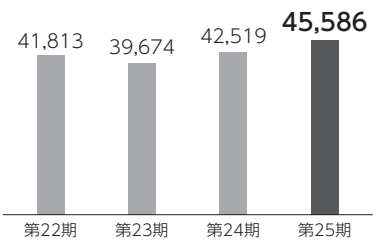
1株当たり当期純利益 (単位：円)



純資産 (単位：百万円)



総資産 (単位：百万円)



3．重要な子会社の状況

会　社　名	資　本　金	当社の議決権比率	主 要 な 事 業 内 容
頂正科技股份有限公司	931百万NT$	100%	大型フォトマスクの製造・販売
SKE KOREA CO.,LTD.	1,100百万KRW	100%	大型フォトマスクの販売
愛史科電子貿易（上海）有限公司	100百万円	100%	大型フォトマスク、その他電子製品の販売
アサヒテック株式会社	54百万円	100%	スクリーンマスク、メタルマスク、フォトマスクの製造・販売

(注) 1. 新台湾ドルは、NT$と表示しております。
2. 韓国ウォンは、KRWと表示しております。

Ⅱ　会社役員に関する事項

1．取締役の状況

地　　位	氏　　名	担当および重要な兼職の状況
代表取締役社長	石　田　昌　徳	
常務取締役	上　野　篤　雄	新領域創造室およびソリューション事業部管掌 フォトマスク事業本部担当 フォトマスク事業本部長
取　締　役	向　田　泰　久	経営戦略室担当
取　締　役	橋　本　昌　典	生産本部担当 知財グループ担当
取　締　役	阿　部　和　香	新領域創造室担当 ソリューション事業部担当 株式会社アイティフォー社外取締役 株式会社モニクル社外監査役
取　締　役	奥　田　正　男	管理本部担当
取　締　役	小　西　芳　広	技術開発本部担当 フォトマスク事業本部技術開発本部長
取　締　役 (常勤監査等委員)	前　野　隆　一	
取　締　役 (監査等委員)	中　野　雄　介	公認会計士 中野公認会計士事務所所長 清友税理士法人代表社員 清友監査法人代表社員 NISSHA株式会社社外監査役 三洋化成工業株式会社社外監査役
取　締　役 (監査等委員)	佐々木　真一郎	弁護士 佐々木総合法律事務所所長 日東化成株式会社社外監査役 株式会社エスユーエス社外監査役
取　締　役 (監査等委員)	立　石　知　雄	株式会社キョーエン代表取締役 株式会社ビューケン取締役 株式会社桑山監査役 株式会社エスユーエス社外取締役
取　締　役 (監査等委員)	神　服　佐知子	株式会社フォーシーズインターナショナル代表取締役

（注）1. 中野雄介、佐々木真一郎、立石知雄および神服佐知子の各氏は、会社法第２条第15号に定める社外取締役であり、当社は、東京証券取引所に対し、各氏を独立役員として届け出ております。
2. 充実した情報収集および内部監査部門等との連携により、監査等委員会による監査・監督機能を強化するため、前野隆一氏を常勤の監査等委員として選定しております。
3. 監査等委員である取締役中野雄介氏は、公認会計士の資格を有しており、財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。
4. 2025年12月19日開催の第24期定時株主総会終結の時をもって、石田敬輔氏は任期満了により取締役を退任いたしました。
5. 2025年12月19日開催の第24期定時株主総会において、取締役に小西芳広氏が選任され、就任いたしました。
6. 当事業年度中に、以下のとおり取締役の地位および担当に異動がありました。

氏　名	変　更　前	変　更　後	異動年月日
上野　篤雄	取締役 フォトマスク事業本部担当 フォトマスク事業本部長	常務取締役 新領域創造室および ソリューション事業部管掌 フォトマスク事業本部担当 フォトマスク事業本部長	2025年12月19日
橋本　昌典	取締役 生産本部担当 技術開発本部担当 知財グループ担当	取締役 生産本部担当 知財グループ担当	2025年12月19日

7. 取締役上野篤雄氏は、2026年1月1日付で愛史科電子貿易(上海)有限公司董事長を退任いたしました。
8. 当事業年度末日後に、以下のとおり取締役の担当に異動がありました。

氏　名	変　更　前	変　更　後	異動年月日
小西　芳広	技術開発本部担当 フォトマスク事業本部 技術開発本部長	技術開発本部担当	2026年10月１日

２．責任限定契約の内容の概要

当社は、社外取締役中野雄介、佐々木真一郎、立石知雄および神服佐知子の各氏との間で、会社法第427条第１項の規定に基づき、同法第423条第１項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令に定める最低責任限度額としております。

３．補償契約の内容の概要

該当事項はありません。

4．役員等賠償責任保険契約の内容の概要

当社は、会社法第430条の３第１項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、株主や第三者から損害賠償請求を提起された場合において、被保険者が負担することになる損害賠償金・争訟費用等の損害を当該保険契約により填補することとしております。当該保険契約の被保険者は、当社取締役（監査等委員である取締役を除く。）、監査等委員である取締役、執行役員、子会社の役員および会計監査人であり、すべての被保険者について、その保険料を全額当社が負担しております。なお、故意または重過失に起因する損害は当該保険契約により填補されません。

5．取締役の報酬等

（1）取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針に関する事項

当社は、取締役（監査等委員である取締役を除く。以下、本号において同じ。）の個人別の報酬等の内容に係る決定方針（以下、決定方針という。）を、社外取締役による確認を経て、2023年8月14日開催の当社取締役会において決議しております。

当社の取締役の報酬は、当該事業年度の業績を勘案しつつ、取締役に求められる能力、責任や将来の企業価値向上に向けた職責、ならびにこれまでの経歴や職歴、職務等を考慮し、社員の処遇との整合性も含めて、指名・報酬委員会による審議を経たうえで、総合的に適正な報酬額を決定することを基本方針としており、具体的には、固定報酬である「基本報酬」および業績連動報酬等である「賞与」の２つの金銭報酬と、非金銭報酬等である「株式報酬」により構成されております。

当事業年度の取締役の個人別の報酬等の内容は、上記の決定方針に従い、基本報酬については役位に応じて決定した額を、賞与および株式報酬は後記の方法で算出した額を支給しており、当社取締役会は、当該内容が上記決定方針に沿うものと判断しております。

（2）取締役の報酬等についての株主総会の決議に関する事項

取締役（監査等委員である取締役を除く。）の金銭報酬の額は、2018年12月21日開催の第17期定時株主総会において、年額300,000千円以内と決議いただいております。当該定時株主総会終結時点の取締役（監査等委員である取締役を除く。）の員数は６名です。また、上記とは別枠で、株式報酬を信託期間約5年間において210,000千円を上限に支給することを、同じく2018年12月21日開催の第17期定時株主総会において決議いただいております。なお、信託期間の満了時には、対象期間を約５年以内の期間を定めて都度延長し、延長した年数に金42,000千円を乗じた金額を上限に追加で支給することについて、あわせて決議いただいております。当該定時株主総会終結時点の取締役（社外取締役および監査等委員である取締役を除く。）は６名です。

監査等委員である取締役の金銭報酬の額は、2018年12月21日開催の第17期定時株主総会において、年額50,000千円以内と決議いただいております。当該定時株主総会終結時点の監査等委員である取締役の員数は４名です。

(3) 取締役の個人別の報酬等の内容の決定に係る委任に関する事項

該当事項はありません。

(4) 業績連動報酬等に関する事項

当社グループ全体の業績に対する連動性を高めるため、連結当期純利益を業績指標とし、これに役位別の配分比率を乗じて算出された額を、賞与として毎年一定の時期に支給しております。なお、当事業年度における連結当期純利益の実績は、3,069,475千円であります。

(5) 非金銭報酬等の内容

当社株式報酬制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託（以下、本信託という。）が当社株式を取得し、当社が各取締役（社外取締役および監査等委員である取締役を除く。以下、本号において同じ。）に付与するポイントの数に相当する数の当社株式を、本信託を通じて各取締役に対して交付する制度であります。なお、交付時期は原則として取締役の退任時となります。取締役に付与するポイント数は役位等に応じて決定され、その総数は１事業年度あたり34,000ポイントを上限としております。

(6) 取締役の報酬等の総額等

（単位：千円）

区　　分	報酬等の総額	報酬等の種類別の総額			対象となる役員の員数
		基本報酬	業績連動報酬等	非金銭報酬等	
取締役（監査等委員を除く）	169,884	79,575	60,944	29,364	8名
取締役（監査等委員） （内社外取締役）	33,240 (19,200)	33,240 (19,200)	－ (－)	－ (－)	5名 (4名)
合　　計	203,124	112,815	60,944	29,364	13名

（注）1. 取締役の報酬等の額には、使用人兼務取締役の使用人給与は含まれておりません。
2. 非金銭報酬等の額は、当事業年度に計上した取締役（社外取締役および監査等委員である取締役を除く。）に対する株式報酬制度に係る役員株式給付引当金への繰入額（株式報酬費用）であります。
3. 上記支給人員の合計は、実支給人数であります。

6．社外役員に関する事項

(1) 他の法人等との重要な兼職の状況および当社との関係

区　分	氏　名	重要な兼職の状況	当社との関係
取締役 (監査等委員)	中野雄介	中野公認会計士事務所所長	特別の関係はありません。
		清友税理士法人代表社員	特別の関係はありません。
		清友監査法人代表社員	特別の関係はありません。
		NISSHA株式会社社外監査役	特別の関係はありません。
		三洋化成工業株式会社社外監査役	特別の関係はありません。
取締役 (監査等委員)	佐々木真一郎	佐々木総合法律事務所所長	特別の関係はありません。
		日東化成株式会社社外監査役	特別の関係はありません。
		株式会社エスユーエス社外監査役	特別の関係はありません。
取締役 (監査等委員)	立石知雄	株式会社キョーエン代表取締役	特別の関係はありません。
		株式会社ビューケン取締役	特別の関係はありません。
		株式会社桑山監査役	特別の関係はありません。
		株式会社エスユーエス社外取締役	特別の関係はありません。
取締役 (監査等委員)	神服佐知子	株式会社フォーシーズインターナショナル 代表取締役	特別の関係はありません。

(2) 主要取引先等特定関係事業者との関係

該当事項はありません。

(3) 当事業年度における主な活動状況

区　分	氏　名	出席状況	主な活動状況と社外取締役が果たすことが期待される役割に対して行った職務の概要
取締役 (監査等委員)	中野雄介	取締役会　13/13回 (100%) 監査等委員会　13/13回 (100%)	公認会計士としての専門的知識と経験に基づき、取締役会において積極的に発言を行ったほか、任意の指名・報酬委員会の委員として取締役の指名、報酬に関する事項の検討に関与し、当社取締役会の意思決定における適正性の確保および業務執行に対する監督等、適切な役割を果たしております。
取締役 (監査等委員)	佐々木真一郎	取締役会　13/13回 (100%) 監査等委員会　13/13回 (100%)	弁護士としての専門的知識と経験に基づき、取締役会において積極的に発言を行ったほか、任意の指名・報酬委員会の委員として取締役の指名、報酬に関する事項の検討に関与し、当社取締役会の意思決定における適正性の確保および業務執行に対する監督等、適切な役割を果たしております。
取締役 (監査等委員)	立石知雄	取締役会　13/13回 (100%) 監査等委員会　13/13回 (100%)	企業経営者としての豊富な経験と高い見識に基づき、取締役会において積極的に発言を行ったほか、任意の指名・報酬委員会の委員として取締役の指名、報酬に関する事項の検討に関与し、当社取締役会の意思決定における適正性の確保および業務執行に対する監督等、適切な役割を果たしております。
取締役 (監査等委員)	神服佐知子	取締役会　13/13回 (100%) 監査等委員会　13/13回 (100%)	企業経営をはじめとする豊富な経験と高い見識、国際的な視点に基づき、取締役会において積極的に発言を行ったほか、任意の指名・報酬委員会の委員として取締役の指名、報酬に関する事項の検討に関与し、当社取締役会の意思決定における適正性の確保および業務執行に対する監督等、適切な役割を果たしております。

(4) 記載内容についての社外役員の意見

該当事項はありません。

(注) 本事業報告中の記載金額は、表示の数値未満を切り捨てております。

連結貸借対照表

(2026年９月30日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		**(負債の部)**	
流動資産	**24,044,409**	**流動負債**	**7,212,075**
現金及び預金	10,064,171	買掛金	2,220,166
受取手形及び売掛金	7,274,658	電子記録債務	1,127,893
電子記録債権	8,473	未払法人税等	760,229
商品及び製品	271,130	役員賞与引当金	60,944
仕掛品	319,646	その他	3,042,841
原材料及び貯蔵品	4,406,851	**固定負債**	**1,014,551**
その他	1,700,920	繰延税金負債	555,475
貸倒引当金	△1,443	役員株式給付引当金	183,939
固定資産	**21,542,527**	その他	275,136
有形固定資産	**18,113,507**	**負債合計**	**8,226,626**
建物及び構築物	3,212,071	**(純資産の部)**	
機械装置及び運搬具	11,447,191	**株主資本**	**32,454,420**
土地	1,905,402	**資本金**	**4,109,722**
建設仮勘定	1,135,061	**資本剰余金**	**4,277,483**
その他	413,780	**利益剰余金**	**25,224,560**
無形固定資産	**367,710**	**自己株式**	**△1,157,345**
のれん	174,105	**その他の包括利益累計額**	**4,905,889**
ソフトウェア	92,469	**その他有価証券評価差額金**	**1,584,415**
その他	101,134	**為替換算調整勘定**	**3,293,129**
投資その他の資産	**3,061,309**	**繰延ヘッジ損益**	**28,345**
投資有価証券	2,649,005	**純資産合計**	**37,360,310**
繰延税金資産	20,348		
その他	403,755		
貸倒引当金	△11,800		
資産合計	**45,586,937**	**負債及び純資産合計**	**45,586,937**

連結損益計算書

(2025年10月1日から2026年9月30日まで)

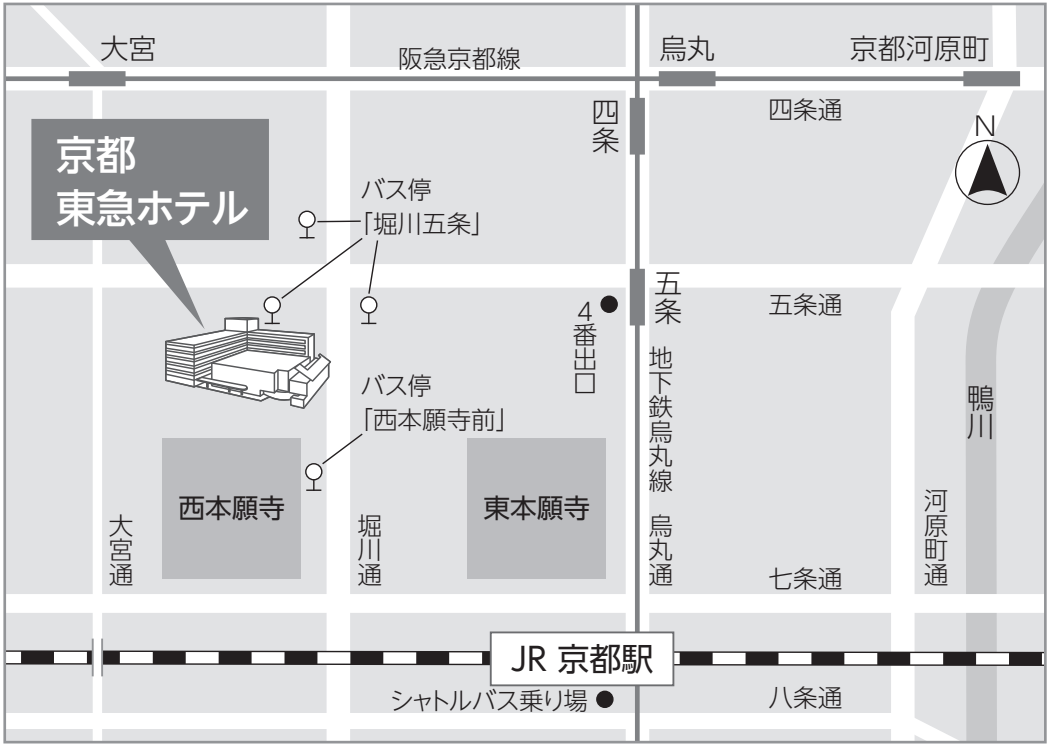
(単位：千円)

科目	金額	
売上高		**27,862,321**
売上原価		**20,584,452**
売上総利益		**7,277,868**
販売費及び一般管理費		**3,244,198**
営業利益		**4,033,670**
営業外収益		
受取利息	46,250	
受取配当金	26,270	
不動産賃貸料	33,918	
為替差益	270,945	
その他	21,966	399,351
営業外費用		
支払利息	3,287	
不動産賃貸原価	11,801	
支払手数料	8,832	
関係会社貸倒引当金繰入額	10,000	
その他	1,147	35,069
経常利益		**4,397,952**
特別損失		
固定資産除却損	8,103	
関係会社株式評価損	28,000	36,103
税金等調整前当期純利益		**4,361,848**
法人税、住民税及び事業税	1,376,706	
法人税等調整額	△84,333	1,292,373
当期純利益		**3,069,475**
親会社株主に帰属する当期純利益		**3,069,475**

株主総会会場ご案内図

京都市下京区堀川通五条下ル柿本町580番地

京都東急ホテル　2階 葵の間



■ 市バスをご利用の場合 …… JR京都駅前バス乗り場より9、28、75号系統に乗車
「西本願寺前」下車北へ徒歩約5分、「堀川五条」下車南へ徒歩約5分

■ 地下鉄をご利用の場合 …… 烏丸線「五条」駅下車４番出口より西へ徒歩約15分

■ 阪急電鉄をご利用の場合 …… 京都線「大宮」駅下車 ▶ 市バス28号系統に乗車
「堀川五条」下車西へ徒歩約３分

■ 京都東急ホテル
無料シャトルバスをご利用の場合 …… JR京都駅八条口（新幹線口）より京都東急ホテルへ直行約15分
https://www.tokyuhotels.co.jp/kyoto-h/access/index.html

ご来場の株主様へのお土産の配布はございません。

UD FONT
VEGETABLE OIL INK
FSC ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C022915